

# 地区だより

VOL 20 1993.10.16  
発行 西湘放射線技師会

秋涼の候、会員の皆様方にはいよいよご健勝のこととお喜び申し上げます。

気象庁学者は異常ではないと言いますが、今年の夏は、我々素人の感覚では、異常気象と言い表せる気候で過ぎてしまいました。

今年度前半も、担当役員の皆さんの頑張りで、エコーの勉強会、レクリエーションのボーリング大会にと大勢の参加を頂き大盛況の下に開催できました、誠にありがとうございます。

技師法の一部改正による業務拡大、鈴鹿医療技術大学が平成7年には完成年度を迎えるのをはじめ、これから開校を目指す大学が数校有り、いよいよ放射線技師の高学歴化が本格化してきます。一方では技師不足を理由に各種学校等で開校を目指す団体も有り、現在は日放技の希望を理解して、断念して頂いたものも数校あります。これには日放技はじめ各県の役員の並々ならぬ努力がありました。我々放射線技師を取り巻く環境も難しくなっております。忙しさを口実に、技師不足の現状に甘えている訳にはいかないものと思います。日放技はじめ各県の役員の方々は技術、学力の底上げを目指し、講習会・学術大会・セミナー等を開催しております、大勢の会員が参加することが役員の方々の努力に報いることと思います。

また、技師会雑誌、新聞の巻頭言・五感に目を通し、日放技が何を目指し、我々会員が、何を指さなければならぬかを汲み取って貰えれば幸いかと思います。

西湘放射線技師会 会長 大木達也



## 拡大役委員会報告

9月21日（火）6時半より、千代田メディカル横浜営業所講堂に於て、平成6年度の拡大役委員会が開催されました。

今年度は、活発な意見交換を期待されて議長に木村秀夫・菊地孝幸の両氏が選出され45名の役員が出席して円卓方式の会場で議事が進められました。

主な内容は以下の通りです。

1. A・A会議10周年記念講演会の成功に向け、広報活動の協力

2. 技師学校問題として、4年制大学以外の開設には協力しない。

3. 本会の今年度事業は

- 1) 賀詞交換会（平成6年1月11日／横浜メルパルク）
  - 2) 神奈川学術フォーラム（平成6年2月26～27／湯河原）
  - 3) 胸部研修会（平成6年2月頃／未定）
  - 4) 予算総会（平成6年3月下旬／未定）
- 等が予定されているので、会員への広報への協力。

4. 日本放射線技師会の動向について

- 1) X線発見100年祭事業が平成7年に計画されている。
- 2) 規定の改正があり、25年表彰が30年表彰に変更された。
- 3) 4年制の放射線学科に進学する会員の子息に対する奨学金制度が検討されている。
- 4) 鈴鹿医療技術大学に大学院の併設が検討されている。
- 5) 技術学会支部関連で10月30～31日山梨で開催される関東東京合同研究会への参加協力。

等が討議され、予定の2時間を少し残して終了しました。

地区委員 坂本 重己

## 春期学術講演の報告記

4月に技師法が改正され業務に”超音波”と言う放射線以外のエネルギーを用いた検査が含まれました。診療に欠かすことのできない検査ですがあまり馴染みのない分野でもあります。そこで今回は他の医療従事者と合同で超音波検査をより身近なものに、またすでに従事している方の自己啓発として講習会を開催しました。

参加者は放射線技師20名・臨床検査技師38名・看護婦5名と多数の出席者でした。

まず超音波とは何ぞやと学生時代物理で教わったことの復習から始まり、続いて装置の原理基本的な内容を簡単に講師の方から説明を受けました。(半分ぐらい頭のなかは霧がかかっていたが…)次は実際の多くの臨床画像を使って特に肝・胆・脾の読影をCT・造影検査等の写真も併せながら丁寧に解りやすく丹羽病院の南先生から講義を受けました。

最後に実習としてメディカルテック(株)・アロカ(株)の協力により5台の超音波装置を会場に持ち込み、普段はポロライドの写真上でしか眼にしなかった画像を生身の身体を使ってプローブをくねくね動かして体験学習をしました。山田さんのお腹は異常なしです!

以上のように充実した講習で本で読むよりも簡単に基礎を学べ、この機会にもう少し勉強してみようかなと思った方もいるのではないのでしょうか。

今回のように基礎から応用また最新の医療と皆さんの勉強意欲をそそる様な講習会を今後も企画します。ぜひ参加して下さいよろしくお願いします。

最後に短い時間にもかかわらず素晴らしい講義をしていただきました丹羽病院の南先生に深く感謝いたします。

## 秋期学術講演のお知らせ

仲秋の候、会員の皆様方には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、恒例の秋期学術講演を下記のとおり開催致します。年の瀬も迫り何かと忙しいことと存じますが皆様お誘い合わせのうえご参加下さるようお願いいたします。

### 記

期 日：平成5年12月1日(水) 6時—8時30分  
場 所：県立足柄上病院1号館4階 講義室

### プログラム

1. 最近の骨密度測定について 横河メディカル(株)  
講師 未定
2. スポーツ医学について 足柄上病院 整形外科部長  
須藤 成臣先生



## “優勝賞品はパンツ一枚”

平成5年度、技師会レクレーションとして10月5日午後6時30分より小田原ナックビルに於いて、ボーリング大会と食事会を催した。幹事達の苦勞を誰が知るや・・・人数の把握、賞品の確保、銭勘定等など・・・が、しかし、当地区技師会のまとまり和の結束の強さともいえるのか集合時間の6時には、ほぼ全員（57名）が賞品目当てに？ 集い定刻通りのスタートとなった。フロアーに飾られた賞品の数々・・・中でも一番目を引きそして誰もが思った優勝賞品☆CDラジカセ☆！！ だが幹事のみぞ知る所のたくらみ？ スコアーに関係なく抽選であることを誰も知らない・・・激戦の中日頃の訓練のたまものか、はたまた若さか第一位に小沢病院の丹羽氏、第二位に富士メディカルの田中氏が決定した。ちなみに翌々日筋肉痛に泣いたのは私だけであったろうか！ 最長老 飯塚先生の参加には頭が下がる思いであった。さておき、表彰式会場、上階の中華料理の店『栄華』へ息揚々と乗り込んだのは、まちがいなく丹羽氏であったであろう。大木会長 挨拶の後、食事会のみ参加者5名を含み厳正なる抽選が始まり、第1位から・・・皆がかたずを呑んで見守る中 最初の賞品の発表があった。・・・大爆笑の中 丹羽氏が引き当てたのは何と^パンツ一枚^の大当たりであった。氏の無念さにひきかえ、幹事がほくそ笑んだのはいうまでもない。ご苦勞様でした。その後11番目に抽選したカイゲン鳩山氏に1番クジがあたったのだが、氏のたつての希望で、じゃんけん大会にCDラジカセを提供するということで・・・役員一同相談の結果、氏の提案に甘える事と相成り、各テーブル毎に代表が選出され、皆の熱い視線の中予想通り？ 上病院 小林氏市立病院 千葉氏の決戦となった。4回のあいこ勝負の後、栄冠は千葉氏の頭上に輝いた。罵声、ブーイングの湧き上がる中 氏の心は躍り上ったのはいうまでもない事であった。（しかし千葉氏はこの後パチンコでラジカセ代以上負けたのを私は知っている）

和気あいあい宴もたけなわであったが時間の制約もあり、山田副会長よりの心和む挨拶にて終宴の運びとなり三々五々 家路へ ? 大半は二次会へと・・夜の巷に散っていったのでした。 蛇足ながら私はというと副会長と渡部先輩と深夜の三次会へ向かったのはお決まりのコースでありました。

—幹事後記—

安直と思っていたボーリング大会が予想以上に難しく以前に行った地引き網の方が楽であったようだ。

最後に本会の運営にあたり御支援、御協賛頂いた小林病院 中静先生 第一製薬様、山之内製薬様、シェーリング様、カイゲン様に深謝致し 又、編集締め切りも迫り雑乱文になったことも合わせてお詫び致す次第であります。 来年はどうでしょうか ???

厚生 中根 精



## 飛んで行け白球よ

神奈川県立足柄上病院 放射線科 野川 義昭

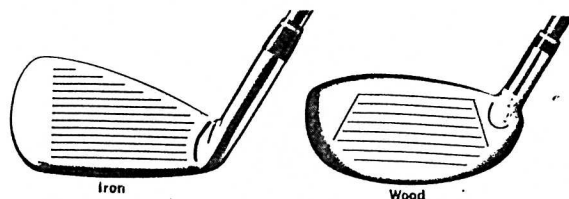
今回、私に趣味のことについて何か書きなさいと言う事になりましたので、ならば皆さんも興味がありそうなゴルフについて少し書いてみる事にしました。ゴルフと言いましてもプレイの内容やスコアは、今回の話題には出て参りませんで、趣味の話しの中心はゴルフクラブを作る事です。もちろん自分でゴルフをしないとクラブの善し悪しが分かりませんので人並にはプレイしますが、なぜにクラブ作りが趣味になったかといえますと、自分が今まで使っていたクラブが壊れた時、修理に出そうとしてショップに概算での修理費を聞きましたら何と、新品のクラブがもう少しで買える値段だったのです。これでは修理しないで誰でも次々に出てくる新型のクラブに買い替えてしまうなと思いました。

ならば自分で直せないものかと考え、いつも通っていた練習場の一角にクラブ修理室がありましたので担当の人に相談し、作業を見せてもらいあとは本を読んで分からないところを又聞きに行き、自分のクラブで試してみました。おかげで何本かのクラブは使えなくなりましたが、それでも修理とはどうすればなにがどうなるのかが少し分かってきました。

けれど問題がありました。それは部品です。なぜか日本では部品を一般の人には小売りしてくれないのです。ショップの人に聞くと部品原価がわかってしまうと完成クラブの値段が崩れるので部品のみは譲らず工賃、手数料と絡めて修理代となり請求するのだそうです。

しかし何とか部品単体を譲ってくれるところを捜さなくては修理が出来ません。国内メーカーではどうしても駄目なので海外のメーカーなら可能かも知れないと捜していたところ、何と中国系の部品問屋が有ったのです。そこで直ぐに連絡を入れてショップでなくても個人で買えるのか聞きました。するとOKとの事なので、早速購入できる部品のカタログと、プライスリストを送ってもらったのです。

手元に届いたカタログには、クラブヘッド、スチールシャフト、カーボ



ンシャフト、グリップ、その他の小物がたくさん掲載されていました。中には、今私が使っているクラブのシャフトや、形がそっくりなアイアンヘッドが載っていたので、早速値段を見てびっくり何とこの前修理を頼もうとしたシャフトが、一本千円と書いてあるのです。その時の修理代は一本九千円と聞いたはずなのに何でこんなに差があるのかと思わず値段を見直してしまいました。

ちなみに、皆さんお使いのクラブの値段はどうでしょうか。やはり売値と、原価とがどのくらい違うものか気になる所だと思います。このカタログの値段で見えますと、アイアンのヘッドがステンレスで約1500円、メタルウッドで4000円、シャフトがスチールで1000～1800円、グリップが500円、その他の必要な小物が約300円とこんな具合なのです。ただしカーボンシャフトだけは種類により900～5000円程度と幅がありますが、合計すると？円なり！一般的には市販価格の一割が部品原価といわれ、二割が組み立て人件費と物品税、三割が流通経費、もう三割が小売りの利潤、残り一割が宣伝費だそうであります。

いまや、割り引き販売が当たり前のゴルフクラブですが、以上のことを考えるともっと安くなるのではと思います。

さて、それでは簡単な修理でスライスや、フックをどの程度直すことが出来るのか皆さんも気になると思います。まずやってみて頂きたいのは自分のクラブを剣道の竹刀を構えるように目をつぶってお面の形で握りしめて下さい。そして目を開けてみたときにクラブの一番下の歯の部分が見え、すぐ上を向いているでしょうか。市販のクラブでもグリップが曲がったまま売られているものがあります。次にクラブを床においてその底面が平らに床についたときそのクラブは自分の構えた球の打ちたい方向に歯のラインが向いているでしょうか、これらが整ってしてから次の段階にはいるのですが案外とこれらを直すことによって球の曲がりが少なくなることが多いのです。

次の段階では鉛のバランス用テープを使いましての球筋矯正ですがこれには四つのパターンが有りまして、まずスライスの時はクラブのヘッドの中心より先端側に4グラム程度テープを張ってみます。この重さについて



は打ってみてその球筋により増減して下さい。第二にフックの時には今と反対に中心より手前側に張ります。そして第三に、球の上がない時はクラブの中心の真後ろから底面になるべく近いところに張ります。第四に球が上がりすぎる場合には、今の反対に中心よりも上の部分に張ってみて下さい。

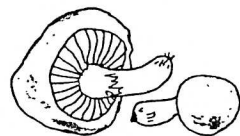
実際には、これらの複合型が多いものですからこのパターンをミックスして試して見て下さい。特にウッドクラブには効果が出ると思います。

ここまでがOKでも、問題が解決しない場合には、クラブのバランスや、シャフトの硬さ、キックポイント、トルク、それとヘッドその物のスポットバランス等を見直すことになって来ますので、クラブの分解再調整や、部品の入替えとなり、専門家の手に委ねることとなります。

クラブは単純な部品の組合せですが、一つずつの部品がそれぞれ特徴を持っていますのでうまく組み合わせると球が上がりやすくなったり、スライスしにくくなったりするのです。

今まで私は、「ゴルフは、道具である」と信じて色々なクラブを買い、たくさんの種類のクラブを打てる機会があるかぎり打ってみました。やはり、スコアメイクにはスイングも重要ですが、クラブが果たす役割は相当大きいと思います。

以上、思い付くままの駄文になってしまいましたが、皆さんの白球が真っすぐ遠くに飛んで行くことをねがいつつ、終了とさせて頂きます。



## 編集後記

昔話になりますが、「地区だより」の第一号を発行した頃はパソコンも8ビットの時代でワープロ専用機もまだ高根の花、東芝パソコン（なつかしー）のワープロソフトで一字ずつ変換するため、えらく時間がかかったものでした、それでも、自分で入力した文字が活字となってプリントされるということは活気的なことでした。それが現在では、今回の入稿はすべてワープロで印刷してありました、10年前は想像もしなかった技術が私たちの身の回りにあふれています、放射線技術の世界もまたしかり、時代に取り残されないために常に勉強が大切だと痛感している昨今です。 「とく」